

# 事務事業シート\_基礎シート

①	事務事業名	病院事業会計(病院全般関係)	開始年度	
	事務事業通番	13	予算名	病院事業会計
	分類区分	内部管理・庶務	枝番	1
	事務事業の法的根拠	佐久穂町病院事業の設置に関する条例ほか		
	関係する個別計画	佐久穂町立千曲病院改革プラン		

②	総合計画の体系(H29~R8)			
	基本構想	重点施策A 住み続けたいを守る持続可能なまちづくり		
	施策	重点施策A 5 健康づくり、予防対策の推進		
	設定した目標	A-5 千曲病院病床利用率等経営指標		
	主な施策	5-2 地域医療体制の充実		

③	コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)			
	基本目標	設定した目標 ー		
	施策	重要業績評価指標(KPI) ー		
	事業名			

④	行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)			R2
	活動計画名	75	病院事業	C

⑥	目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	総合計画	0.842	0.921	0.882	0.851	0.818	0.673						
	創生戦略												
	基本目標	-	-										
	施策	-	-										

⑦	決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	事業費	1,592,417	1,625,215	1,749,882	1,700,778	1,604,758	1,592,477						
	財源内訳												
	一般財源	1,431,407	1,485,267	1,456,018	1,445,339	1,348,913	1,277,555						
	国県補助金	146,608	137,269	185,966	182,538	226,750	289,136						
	その他	14,402	2,679	4,647	2,986	2,875	25,786						
	人件費												
	職員数(A)												
	職員数(B)												
	職員数(C)												
	正職員以外												
	概算人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総事業費	1,592,417	1,625,215	1,749,882	1,700,778	1,604,758	1,592,477	0	0	0	0	0	0

⑧	内部取扱事項												

⑤	対象	来院患者、病院職員
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●病床数(令和2年3月) 総数 97床 内訳 一般52床(うち地域包括ケア病床21床) 療養45床(医療)</li> <li>●健康管理事業の改善 ①人間ドック受入数 最大12人/日 ②特定保健指導の充実</li> <li>●病床利用率 84.4%(H27)→88.0%(H28)→86.5%(H29)→85.1%(H30)→81.8%(R1)→67.3%(R2)</li> <li>●各種施設基準の獲得</li> <li>●眼科白内障手術の増 62例(H27)→189例(H28)→255例(H29)→245例(H30)→328例(R1)→198例(R2・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時手術をストップした)</li> <li>●病児保育の実施</li> </ul>
	意図	現在の病院規模に見合った診療体制の充実(医師、看護師確保)をはかり、医療の質の向上、収益の改善をしながら、地域に信頼され愛される病院を目指します。また、町立病院として、町国保、健康管理行政の一役を担うべく、人間ドックを中心とした検診体制の充実も図りたい。さらに、厚生連佐久医療センターの開業により一層地域医療を担うべく、老朽化した施設のリニューアルや医療機器の更新を計画的に実施するとともに、居宅・訪問看護ステーションの体制充実を図るなど、在宅医療の充実を目指す。需要が高い、日帰り眼科白内障患者の手術の拡大を図る。また、医事事務体制の充実をはかり、若手職員の人材育成、病院収益向上策を積極的に進めるとともに、院内保育所(病児保育含む)を平成28年度から開設する。
	事業実施の経緯・こ	<p>県内の他の自治体病院と比較しても、独立採算制(市町村からの補助金等を除いた修正医業収支比率)は高い。しかしながら、継続性のある町立病院として存続するために、施設面・医療機器類・人材面での充実が必要な時期となっている。</p> <p>平成29年6月に外科医の退職、平成30年3月に内科医の退職があり、さらにH30年度8月から入職した常勤の整形外科医により手術体制も充実したが、令和2年10月末で退職した。以後常勤医の確保ができておらずに、その影響で患者数の減少がみられている。</p> <p>眼科白内障手術は平成27年度から年々件数が増加しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、手術をストップした時期もあり減少。</p> <p>一般内科・整形外科の常勤医の確保が急務。</p>